



# トップエスイー受講ガイド

(システム編)

<https://www.topse.jp>

2021 年度

Rev.1.0

2021-3-5

※本記載内容はコロナウイルス感染状況によって変更になる場合があります

Copyright © 2021 TopSE Project, National Institute of Informatics. All Rights Reserved.

# 目次

1. 講義受講環境 .....	2
2. 演習環境 .....	3
クラウド上のデスクトップ環境 .....	3
個人 PC/Mac を利用する場合の留意点 .....	8
VPN の利用方法 .....	9
PacketiX 接続時の設定情報 .....	9
L2TP/IPsec 接続時の設定情報 .....	9
SSTP 接続時の設定情報 .....	9
Windows 10 での VPN 設定方法 (L2TP, SSTP) .....	9
VPN サーバへの接続と切断 .....	10
接続設定の変更 .....	10
PacketiX VPN クライアントのインストール .....	11
PacketiX での接続のための設定 .....	12
PacketiX での接続と切断 .....	13
macOS での L2TP の設定 .....	13
macOS での接続と切断 .....	15
その他の便利なサービス .....	16
3. LMS .....	19
補講用ビデオ閲覧方法 .....	19
課題の提出について .....	19
課題提出ボタンがない場合 .....	19
課題提出ボタンがある場合 .....	19
4. 受講生ポータル .....	21
「履修科目選択」のページ .....	22
「出席・遠隔申請」のページ .....	22
自身に関する情報の変更 .....	23
議事録の作成 .....	23
決められた日程の場合 .....	23
コードの入力を間違えた場合 .....	25
議事録の入力 .....	25
個別の日程で行った場合 .....	26
過去の日付の議事録 .....	27

本ガイドはトップエスイーを1年間受講するにあたり、講義受講環境や演習実行環境、そして、受講をサポートするシステムについて、知っておいて頂きたいことをまとめたものです。

# 1. 講義受講環境

---

遠隔受講では、講義の様子映像と講義資料のスライドを配信し、他方受講生からの質問等を受け付けるため、Zoom というサービスを利用します。

遠隔受講のためには、PC 等の Zoom がサポートするデバイスと、スピーカーやヘッドフォン、マイク等を用意して下さい。PC、スマホ、タブレットにてアプリを入手して利用できます。講義開始時刻の 10 分程前に、アクセスをして下さい。以下は遠隔講義の参加に必要な情報です。

- Zoom のサイト : <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
- Meeting ID : 830 8245 0200
- パスコード : FfUmTa48

Zoom のサイトに接続して、「ミーティングに参加する」をクリックし、前記の Meeting ID を入力するとミーティングに参加できます。

それとは別に、Web ブラウザで講義に直接接続することも可能です。URL は次の通りです。

- <https://us02web.zoom.us/j/83082450200?pwd=RDN3WVJaZ3JRZG1ya1JUUVIBUd0xjdz09>

この URL により、Zoom に接続して、該当する Zoom のミーティングに直接入るので、すぐに講義に参加できます。

Web ブラウザでの初回アクセス時には、Zoom のインストーラがダウンロードされます。受け入れてインストーラを起動し、インストールを行って下さい。自動的に Zoom が立ち上がります。

ミーティングに入るときに、名前を入力するように促されます。日本語で入力して下さい。すでに遠隔配信の準備が完了していれば、講義に参加できます。

## 2. 演習環境

---

トップエスイーの講義では、演習に多くの時間を充てて知識の定着を図ります。ディスカッションだけの演習もありますが、各種ツール類を使って、設計や実装を行う演習もあります。このツール類は、個人の PC/Mac にインストールして利用することもできますし、クラウド上で予め用意されているデスクトップ環境で利用することもできます。このクラウド上のデスクトップ環境には、個人が円滑に演習を実施できるようにするためにツール類が予めインストールされています。ここでは、まず、このクラウド上のデスクトップ環境について説明をします。

また、ツール類を個人の PC/Mac にインストールして利用する場合に、知っておいて頂きたいことと、オンサイトでの講義が再開した場合に、個人の PC/Mac を国立情報学研究所の 2010/2009 教室に持ち込まれる際に、知っておいて頂きたいことを説明します。

さらに、NII のネットワーク内に構築されているクラウド環境を利用して、演習を実施する講義のために、NII のネットワーク環境に外部から VPN 接続する方法について説明します。

最後に、Zoom を使って、大勢のメンバで議論をする際に便利なサービスについて紹介します。

### クラウド上のデスクトップ環境

---

演習で利用するツール類は、予めそれらをインストールした環境が、AmazonEC2 上に用意されていますので、そこにアクセスして利用して頂くことができます。ここでは、この環境にアクセスするための手順について、説明します。

まず、Web ブラウザで、次の URL にアクセスしてください。

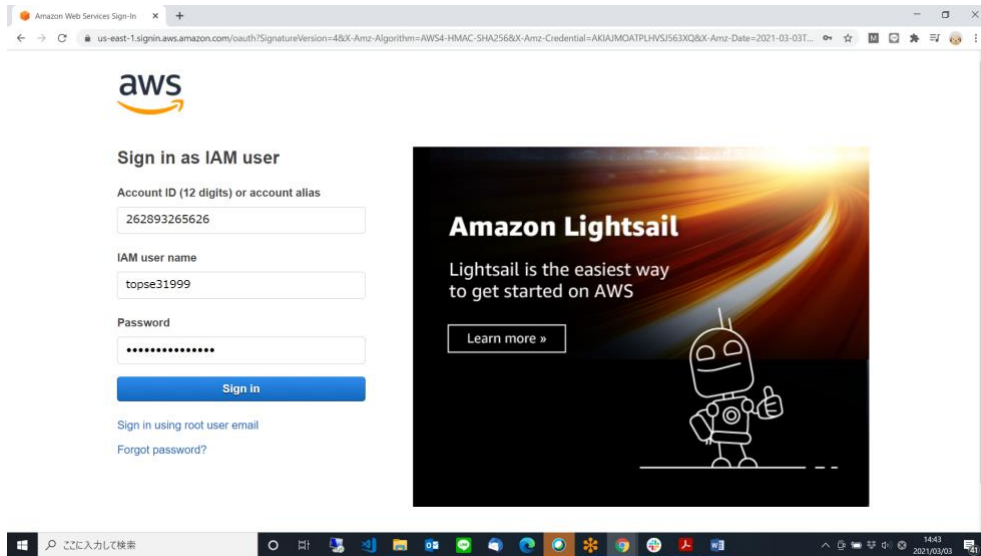
URL : <https://262893265626.signin.aws.amazon.com/console>

すると、次のようなサインインの画面が表示されますので、Account ID、IAM user name、Password を次のように入力して、サインインボタンをクリックしてください。

Account ID : 262893265626

IAM user name : (事務局から年間を通して利用できる ID をお伝えします。図の例 : topse31999)

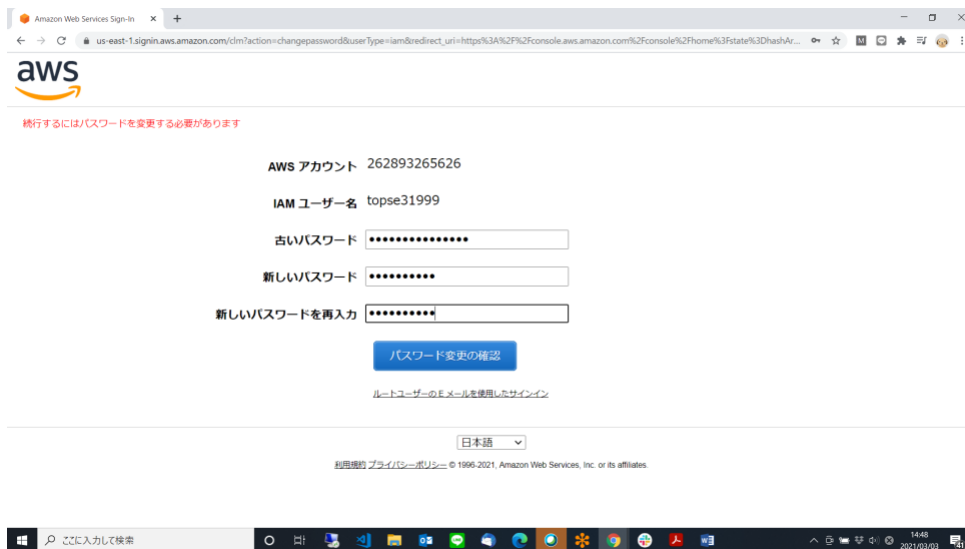
Password : (事務局から初期パスワードをお伝えします。)



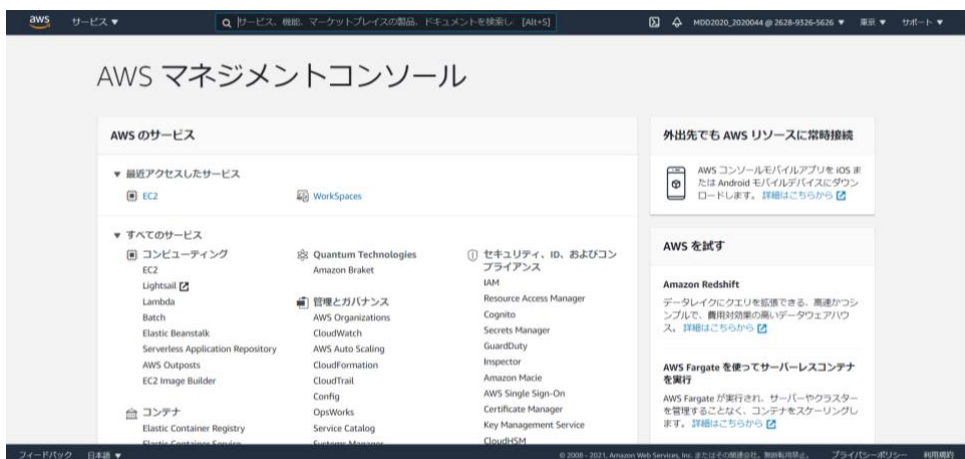
すると、初回については、パスワードの変更を要求する画面に遷移しますので、言語の選択リストから日本語を選択した後に、新しいパスワードを設定して、ボタン

パスワード変更の確認

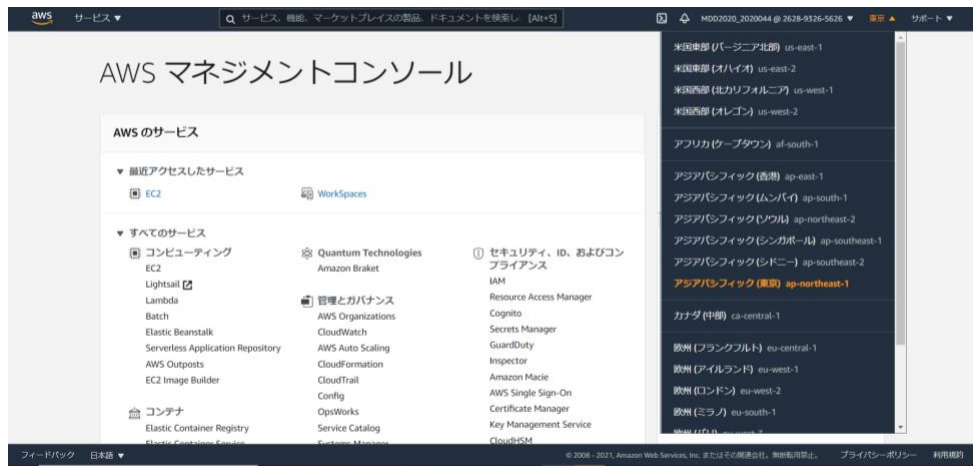
をクリックしてください。



すると、次のような画面に遷移します(2回目以降のサインインでは、新しいパスワードを利用することで、次の画面に直接遷移します)。



そこで画面右上にあるリージョン選択メニューをクリックして



選択リストの中から

**アジアパシフィック (東京)ap-northeast-1**

を選択してください。そして、同じページ内にあるリンク

EC2

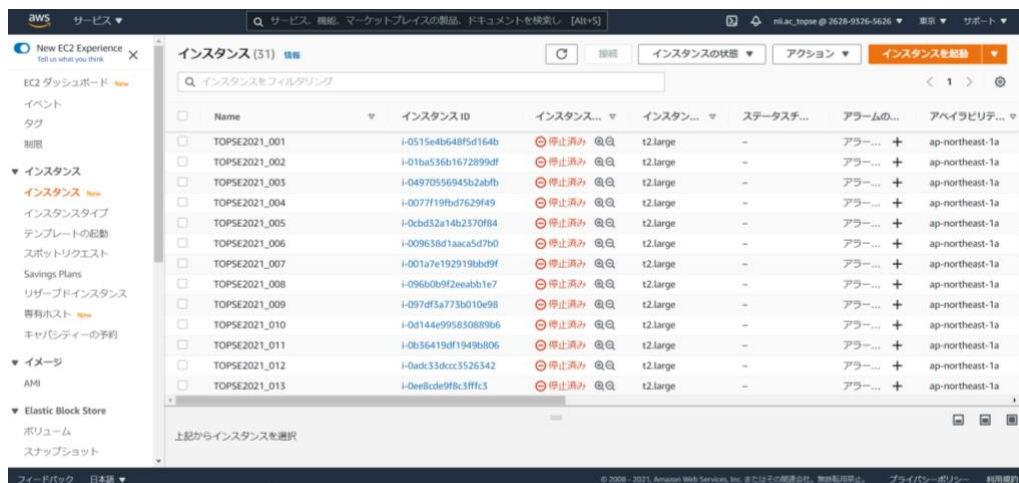
をクリックしてください。すると、次の EC2 ダッシュボードのページに遷移します。



この中でリンク

インスタンス(すべての状態)

をクリックしてください。すると、次のインスタンス一覧のページに遷移します。



以後、Windows デスクトップを利用する前提で説明します。

この一覧の中で、インスタンスの状態に”停止済み”と表示されている Windows インスタンスを任意に選び、先頭のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

そして、プルダウンメニュー

インスタンスの状態

から、

インスタンスを開始

を選択します。しばらく時間が経つと、インスタンスの状態が”実行中”に変化します。

その後、ボタン

接続

をクリックしてください。すると、次のページに遷移します。



ここで、さらにタブ

RDP クライアント

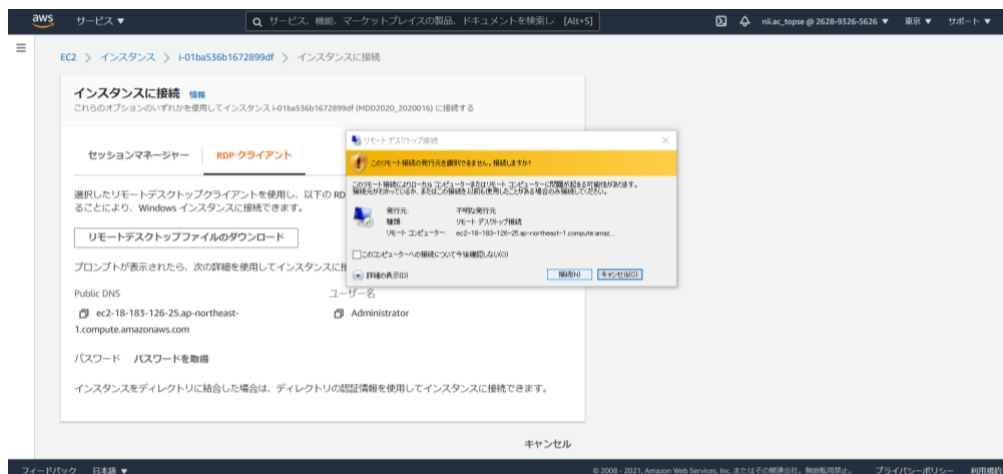
をクリックすると、次のページに遷移します。



もし、ローカルで WindowsPC を利用している場合には、ボタン

リモートデスクトップファイルをダウンロード

をクリックして、さらに、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。すると、次のダイアログが現れます。



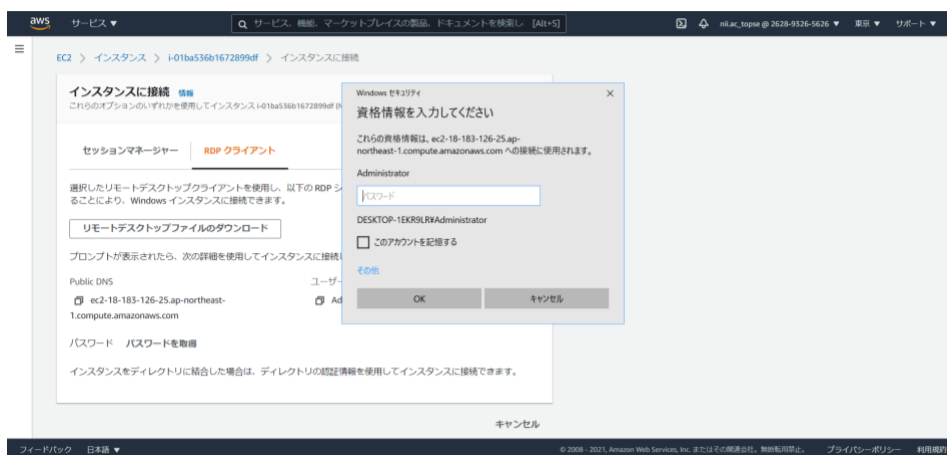
ここで、ボタン

接続

をクリックすると、次の認証ダイアログが現れますので、パスワードの欄に、

**\*p8ePz@f5kn-srcRq3z5dj3KHODDU(LS**

と入力してください。

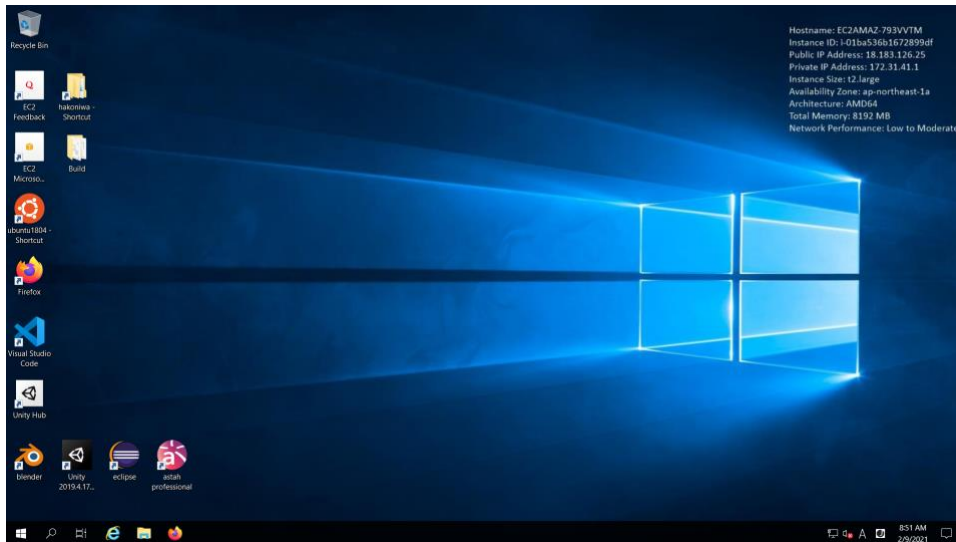


すると、証明書エラーのダイアログが現れますが、構わず

はい

をクリックすると、次のようなリモートデスクトップ画面が現れます(これでアクセス完了です)。





もし、ローカルで Mac を利用している場合には、Microsoft Remote Desktop 等のツールを使い、先に載せた

インスタンスに接続

のページに表示された Public DNS とユーザー名、そして、パスワードとして

**\*p8ePz@f5kn-srcRq3z5dj3KHODDU(LS**

を設定して、接続してください。

なお、利用を終了するときには、リモートデスクトップ画面の中で、Windows のシャットダウン操作をしてください。すると、先に挙げたインスタンス一覧におけるインスタンスの状態が、“停止済み”に戻ります(インスタンスの状態が“停止済み”になっていないと、課金され続けることとなりますので、この操作は終了時に必ず実行してください)。

## 個人 PC/Mac を利用する場合の留意点

個人の PC/Mac にツール類をインストールする場合、講義科目ごとに利用するツールとそのインストール方法を示した Web ページの URL が、一覧の形でまとめられて、後述する LMS のコース

2021-share 共有情報

に

講義利用ツール一覧表.xlsx

というファイルで掲示してありますので、ご覧ください。

また、オンサイトでの講義が再開した場合に、個人の PC/Mac を国立情報学研究所の 2010/2009 教室に持ち込んで受講することが可能です。そのために、受講生全員に、Wi-Fi のアカウントを配布します。このアカウントは eduroam という高等教育機関や研究機関等において、国際的に相互利用が可能なローミングサービスのアカウントで、国立情報学研究所内では、2010/2009 教室以外でも利用できるワイアレスネットワークです。2010/2009 教室の Ethernet 端子は、ご自分の PC 等を接続しても、インターネットに出ることは基本的にはできません。PC/Mac あるいはタブレット等を持ち込まれた場合には、インターネット接続を確保するためには eduroam を利用して下さい。なお、AC100V の電源コンセントは自由に使ってください。

# VPN の利用方法

---

一部の講義では、NII のネットワーク内に構築されているクラウド環境を利用して、演習を実施します。そのために、NII のネットワーク環境に、外部から入り、NII 内でネットワークを使っているのと同様に利用できるようにするために、VPN で接続できるようにしています。

VPN 接続の方法として、Windows 7/8/10 では、PacketiX と L2TP/IPsec、SSTP の 3 つから選べます。OS X では L2TP/IPsec、Ubuntu では SSTP での接続が可能です。PacketiX は専用クライアントソフトをソフトーサ社のサイトからダウンロード、インストールして使います。以下に、設定情報のサマリーを掲載します。

## PacketiX 接続時の設定情報

ホスト名	edubase-vpn.cb.ecloud.nii.ac.jp
ポート番号	443
仮想 HUB 名	edubase
ユーザー認証-認証の種類	Radius または NT ドメイン認証
ユーザー名/パスワード	LMS と同じもの

## L2TP/IPsec 接続時の設定情報

サーバ	edubase-vpn.cb.ecloud.nii.ac.jp
アカウント名/パスワード	LMS と同じもの
事前共有鍵	vu35CZ924=zx
認証プロトコル	PAP (設定不要な場合もあります)

OS X では、「詳細」ボタンを押して表示されるシートの「オプション」タブで、「すべてのトラフィックを VPN 経由で送信」のチェックボックスを入れる必要があります。

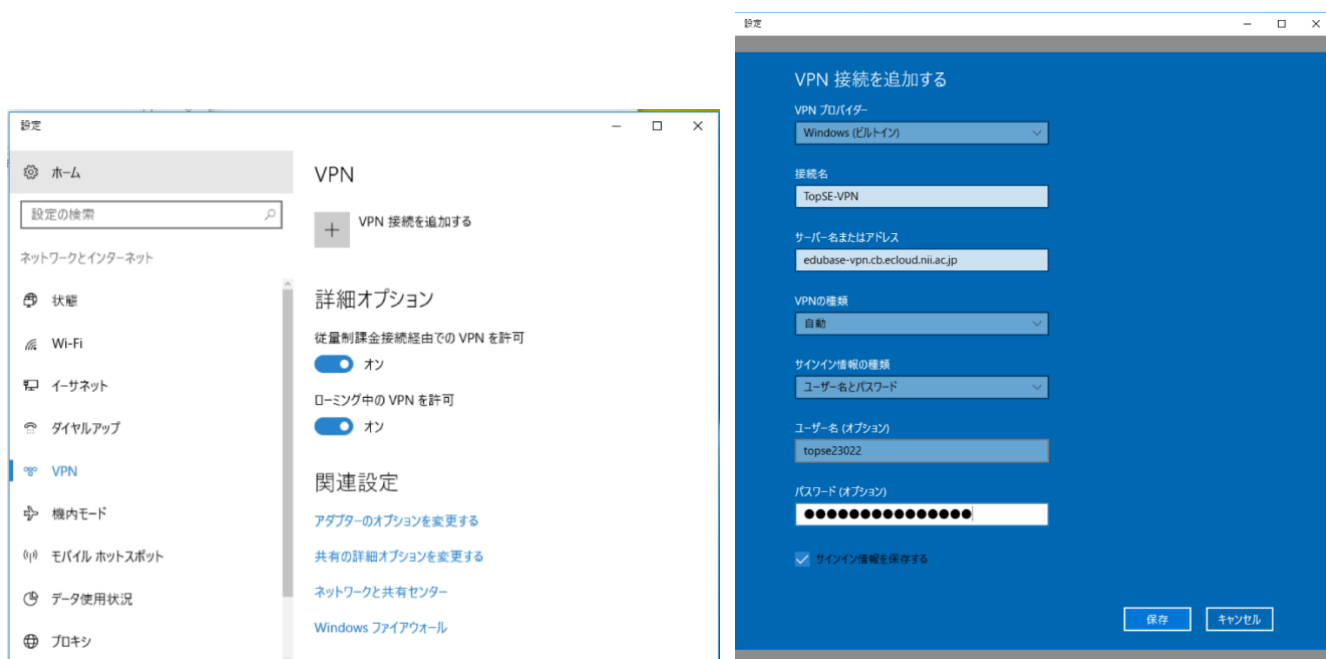
## SSTP 接続時の設定情報

サーバ	edubase-vpn.cb.ecloud.nii.ac.jp
アカウント名/パスワード	LMS と同じもの
認証プロトコル	PAP (設定不要な場合もあります)

## Windows 10 での VPN 設定方法 (L2TP, SSTP)

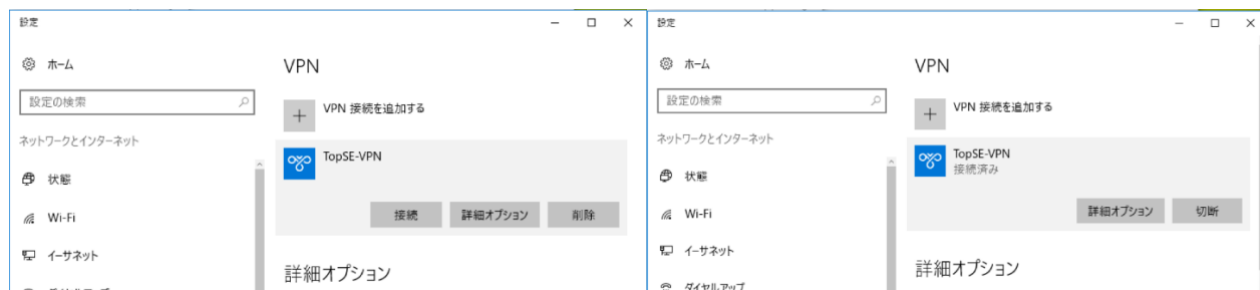
スタートメニューの左端にある「設定」アイコンをクリックします。そして、表示されるパネルで「ネットワークとインターネット」を選択します。右のようなパネルになるので、左側から「VPN」を選択し、右側で「VPN 接続を追加する」をクリックします。

VPN の接続の編集において、VPN プロバイダーは「Windows(ビルトイン)」を選択します。接続名は任意の名前を設定します。サーバ名またはアドレスでは「edubase-vpn.cb.ecloud.nii.ac.jp」としていします。VPN の種類とサインイン情報の種類はそのままにします。ユーザー名とパスワードは、配布されたアカウントを指定します。そして、「保存」ボタンをクリックします。



## VPN サーバへの接続と切断

VPN の一覧に新しい項目が追加されます。クリックしてボタンが見える状態にして「接続」ボタンをクリックすると、接続されます。切断するには、同じ設定パネルに見えている「切断」ボタンをクリックします。

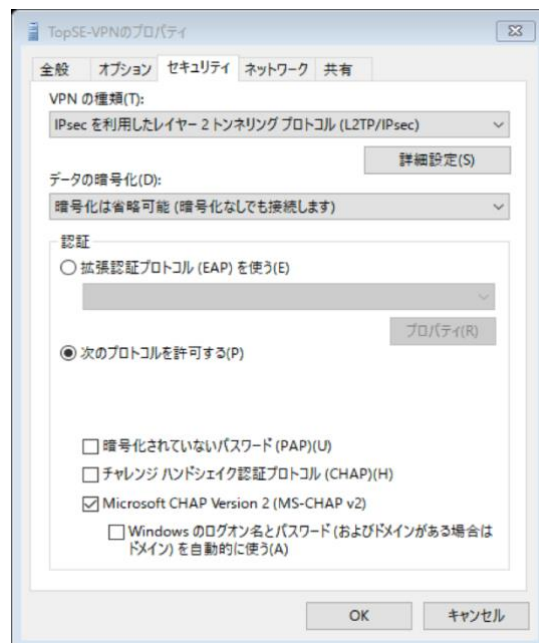


## 接続設定の変更

ここまでの手順では、SSTP による接続を行いました。設定を変更するには、「ネットワークとインターネット」の「状態」等にある「アダプタのオプションを変更する」をクリックして以下のような接続設定がアイコンとして見えているウィンドウを表示します。



アイコンを右クリックして「プロパティ」を表示し、「セキュリティ」のタブを選択します。VPNの種類から、L2TP/IPsecを選択することができます。「認証」は、MS-CHAP v2を選択して下さい。



## PacketiX VPN クライアントのインストール

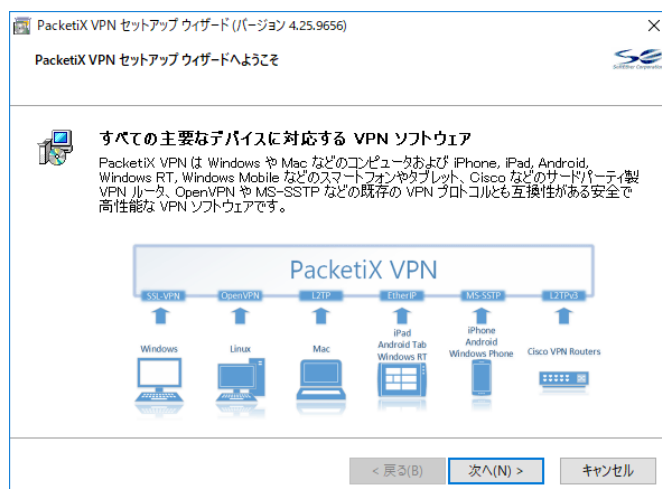
SoftEther の VPN クライアントである PacketiX VPN でも、トップエスイーの講義室のネットワーク環境に接続することができます。現在、OS X 版は実験的な実装となっていますが、Windows については正式版が無償で配布されています。以下のサイトよりダウンロードします。

<http://www.packetix-download.com/ja.aspx>

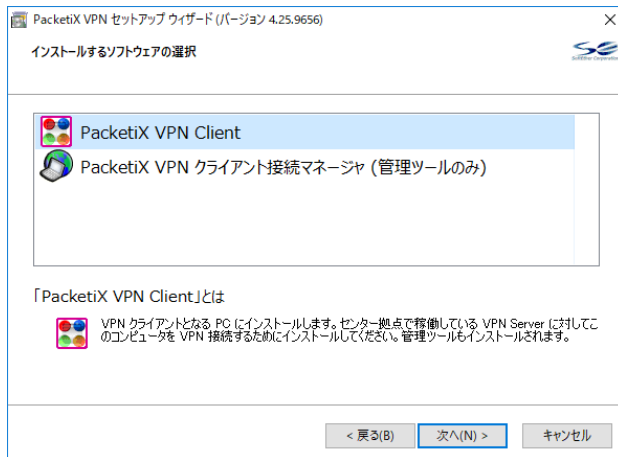


ページの最初の部分で、ダウンロードするソフトウェアとして「PacketiX VPN (Commerical)」を選択します。コンポーネントは「PacketiX VPN Client」を選択します。プラットフォームは「Windows」を選択します。その場合、CPUの選択肢は自動的に1つに決まりますが、他のプラットフォームでは選択が必要な場合があります。

サイトより、exe形式のインストーラがダウンロードされるので、ダブルクリックしてインストールを行います。インストーラのウィンドウが開きます。以下、指示通りにインストールすれば良いため、すべてのインストールの画面は提示しません。

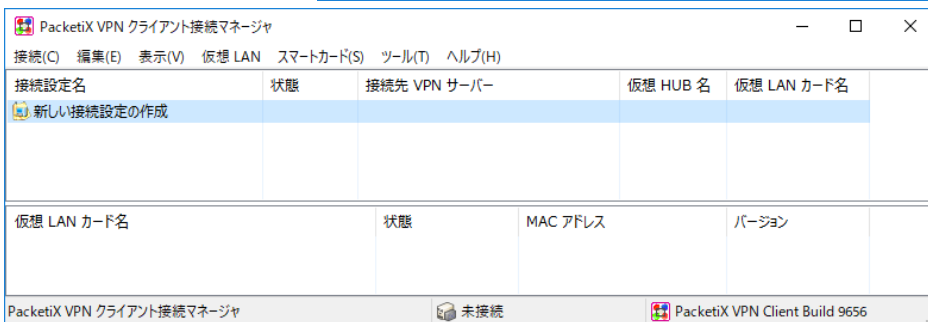


途中でインストールするソフトウェアの種類を選択する画面になります。ここでは、「PacketiX VPN Client」を選択します。

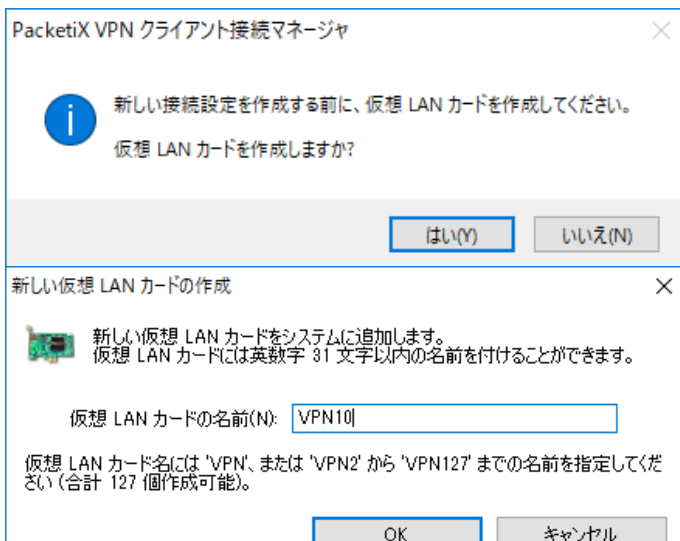


## PacketiX での接続のための設定

インストール後、「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を起動します。スタートメニューの項目に追加されています。そして、最初に、「新しい接続設定の作成」という項目があるので、ダブルクリックします。



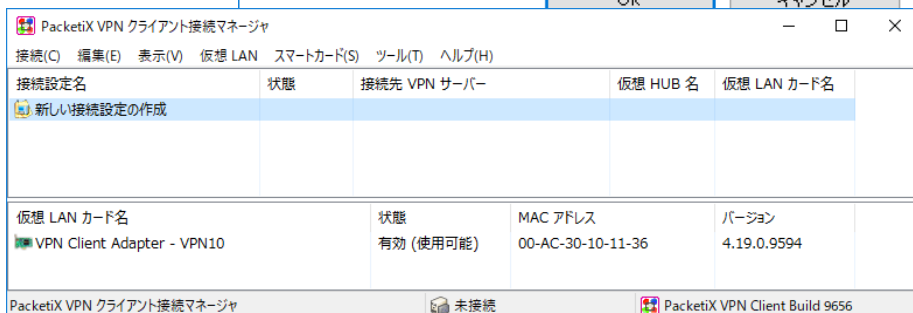
仮想 LAN カードの設定がないので、新たに作るかどうかをたずねています。ここでは「はい」をクリックして、仮想 LAN カードの作成を行います。



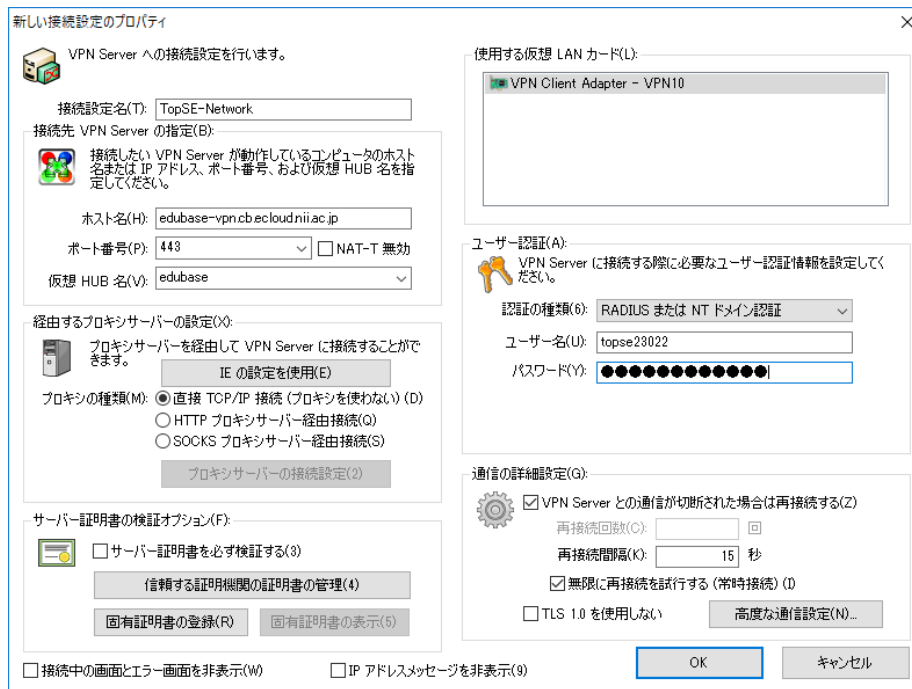
仮想 LAN カードの名前を指定します。名前は VPN あるいはその後に数字を加えたものしか許されないなので、ルールに従って名前を付けます。

仮想 LAN カードの名前を指定します。名前は VPN あるいはその後に数字を加えたものしか許されないなので、ルールに従って名前を付けます。

しばらく待つと、仮想 LAN カードが作成されて、ウィンドウの下半分に新しい項目が増えています。ここでもう一度、「新しい接続設定の作成」をダブルクリックします。すると、設定のダイアログボックスが表示されます。必要な設定を行います。「接続設定名」は任意の識別可能な名前を入力します。「ホスト名」は「edubase-vpn.cb.ecloud.nii.ac.jp」と入力します。ポート番号は規定値の「443」のままにします。



仮想 HUB 名には「edubase」と入力します。「使用する仮想 LAN カード」は、直前に作られた項目が選択されているのを確認します。「ユーザー認証」の「認証の種類」は「RADIUS または NT ドメイン認証」を選択し、「ユーザー名」と「パスワード」は、LMS やシンクライアントにログインをするときのアカウントを指定します。OK ボタンをクリックして、設定を確定させます。



## PacketiX での接続と切断

新たに作られた設定（ここでは「TopSE-Network」）をダブルクリックすると接続されます。接続されると、状態が「接続完了」になります。

切断するには、接続設定の項目を右ボタンでクリックして、ポップアップメニューから「切断」を選択します。



## macOS での L2TP の設定

システム環境設定の「ネットワーク」で設定を行います。ネットワーク環境を新しく作らないで、通常利用しているもの（「自動」など）をそのまま利用します。

左側に VPN のための設定項目がない場合には、左下の+をクリックしてシートを表示し、「インターフェース」に「VPN」、



「VPN タイプ」に「L2TP over IPsec」を選択します。サービス名は自由に付けられますが、既定値のままでもかまいません。

左側のリストでVPNの項目名を選択します。「構成」のポップアップメニューから「構成を追加」を選択します。

接続設定に付ける名前を入力するシートが表示されるので、適当な名前を設定して、「作成」ボタンをクリックします。

「構成」が作成したものになっていることを確認して、サーバアドレスに、

edubase-vpn.cb.ecloud.nii.ac.jp

「アカウント名」にユーザー名（LMSやシンクライアントのログインで使用するもの）を指定します。

「認証設定」ボタンをクリックして、シートを表示します。「ユーザー認証」の「パスワード」は、自分のアカウント（LMSやシンクライアントのログインで使用するもの）のパスワードを指定します。「コンピュータ認証」の「共有シークレット」には、

vu35CZ924=zx

とキータイプします。

「OK」ボタンを押して確定します。その後「適用」ボタンを押して設定を確定します。接続に失敗する場合には、「詳細」ボタンをクリックして表示されるシートにある「オプション」タブで、「すべてのトラフィックをVPN経由で送信」のチェックボックスを入れます。





## macOS での接続と切断

システム環境設定の「ネットワーク」では、左側で VPN の項目を選択し、「構成」で接続設定を選択して、「接続」ボタンをクリックします。状況が「接続済み」になると、接続されています。切断は「接続解除」ボタンをクリックします。

システム環境設定の「ネットワーク」で「メニューバーに VPN の状況を表示」のチェックを入れておけば、VPN 接続のためのメニューがメニューバーに追加されます。メニューバーより、構成を選択して、「接続」の項目を選択します。切断もメニューバーより可能です。

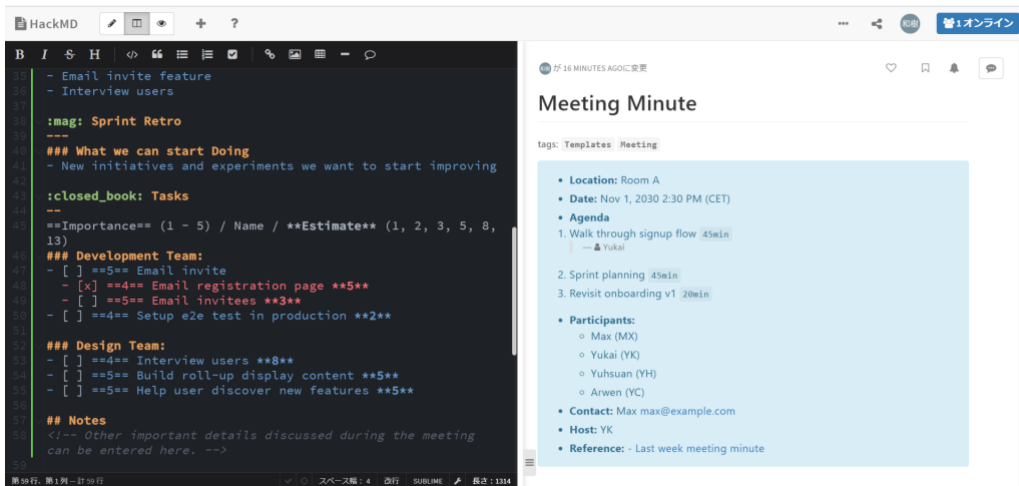




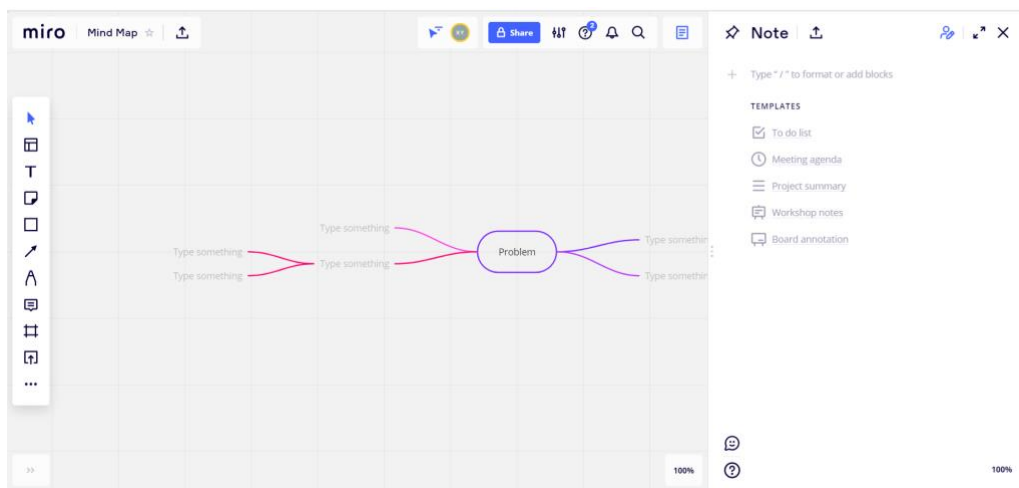
## その他の便利なサービス

Zoom を使って、大勢のメンバで議論をする際に、メモ帳やホワイトボードなどの機能が、メンバ間でオンラインで共有できると便利です。トップエスイーでは、そのために、次に挙げるサービスが、これまでによく利用されています。参考のために、記載します。

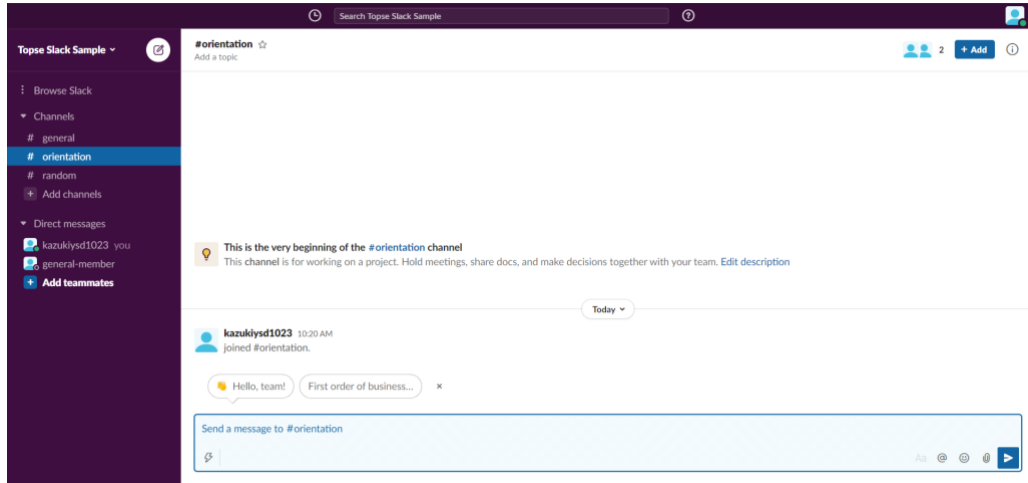
- メモ帳として、HackMD(マークダウンエディタ)
- <https://hackmd.io/?nav=overview>



- ホワイトボードとして、Miro
- <https://miro.com/app/dashboard/>



- テキストやファイルのアップロードによるチーム内のコミュニケーションツールとして、Slack
- <https://slack.com/intl/ja-jp/>



- テキスト、ボイス、ビデオを使った総合的なコミュニケーションスペースとして、Discord
- <https://discord.com/>



□ クラウド上で共有可能なオンラインストレージサービスとして、Google ドライブ

□ <https://www.google.co.jp/drive/>



# 3. LMS

LMS（学習管理システム：Learning Management System）は、講義科目ごとにコース（LMS 内でのまとまったページ）を設置しています。コースに移動すると、テキスト配布のためのリンクや、ディスカッションのためのフォーラム、レポート提出等の項目が見えます。これらは、リンクをクリックして進めば、ファイルを取得することや、該当するページに移動して操作することが可能になるので、使用方法はここでは説明しません。以下、説明が必要な内容に絞って説明します。LMS の URL は以下の通りです。

□ <https://lms.topse.jp/>

## 補講用ビデオ閲覧方法

欠席した講義を視聴したい、復習のため改めて講義を視聴したい場合に、講義の要素を収めた補講用ビデオを LMS から参照できます。LMS にログインし、講義科目のコースに入ります。補講用ビデオのリンクがページ内にあるので、それをクリックすれば参照できます。

## 課題の提出について

課題の提出方法は 2 通りあります。それぞれについて方法と注意点を説明します。

### 課題提出ボタンがない場合

課題提出の画面で、「課題を提出する」ボタンがない場合があります。受講生からは以下の提出画面が見えます。「提出を編集する」というボタンがあり、このボタンをクリックして移動したページで、ファイルをアップロードできます。提出したファイルを差し替えた時には、「提出を編集する」を再度クリックして提出ファイルの編集ページに移動し、以前のファイルを削除して、新しいファイルをアップロードします。最新のファイルが提出結果となります。

### 課題提出ボタンがある場合

課題提出のページに「提出を編集する」だけでなく、「課題を提出する」ボタンがある場合もあります。「提出を編集する」ボタンは、前述の通り、ファイルのアップロードや差し替えができます。一方、「課題を提出する」ボタンをクリックすると、以後、ファイルのアップロードができなくなります。つまり、「レポートが完成した」ということを明確に講師に伝えることができます。逆に、このボタンを押さない限り、講師は提出されたことがわからず、採点ができませんのでご注意ください。

ナビゲーション ☰

Home

- マイホーム
- ▶ サイトページ
- ▶ マイプロフィール
- ▼ 現在のコース
  - ▼ h27-sandbox
    - ▶ 参加者
    - ▶ バッジ
    - ▶ フォーラム
    - ▶ 講師からのお知らせ
    - ▶ 講義資料
    - ▼ 課題
      - 📄 レポートのファイルを提出する
      - 📄 **もう一度ファイルを提出する**
      - ▶ 講義ビデオ
  - ▶ マイコース

## もう一度ファイルを提出する

最初の課題「レポートのファイルを提出する」で作成したファイルのファイル名のうち「Report0」の部分を「Report1」に変更して、ここで提出をしてください。

提出の前に、画面が少しだけ違っていることも必ず確認してください。

### 提出ステータス

提出回数	これは 1 回目の提出です。
提出ステータス	下書き (未提出)
評価ステータス	未評価
最終更新日時	2015年 01月 23日(Friday) 01:37
ファイル提出	📄 <a href="#">Report0_topse23022_NiiMasayuki.docx</a>
提出コメント	▶ コメント (0)

あなたの提出に変更を加えます。

この課題を提出した場合、あなたはこれ以上変更できないようになります。

「課題を提出する」ボタンをクリックした後は、「提出を編集する」ボタンは表示されなくなります。もし、間違えて「課題を提出する」ボタンを押してしまった場合、受講生側ではどうすることもできません。講師は提出を取り消して再度ファイルのアップロードが可能な状態に変更できるので、講師宛にメールを出して、状態の変更を依頼して下さい。

ナビゲーション ☰

Home

- マイホーム
- ▶ サイトページ
- ▶ マイプロフィール
- ▼ 現在のコース
  - ▼ h27-sandbox
    - ▶ 参加者
    - ▶ バッジ
    - ▶ フォーラム
    - ▶ 講師からのお知らせ
    - ▶ 講義資料
    - ▼ 課題
      - 📄 レポートのファイルを提出する
      - 📄 **もう一度ファイルを提出する**
      - ▶ 講義ビデオ
    - ▶ マイコース

## もう一度ファイルを提出する

最初の課題「レポートのファイルを提出する」で作成したファイルのファイル名のうち「Report0」の部分を「Report1」に変更して、ここで提出をしてください。

提出の前に、画面が少しだけ違っていることも必ず確認してください。

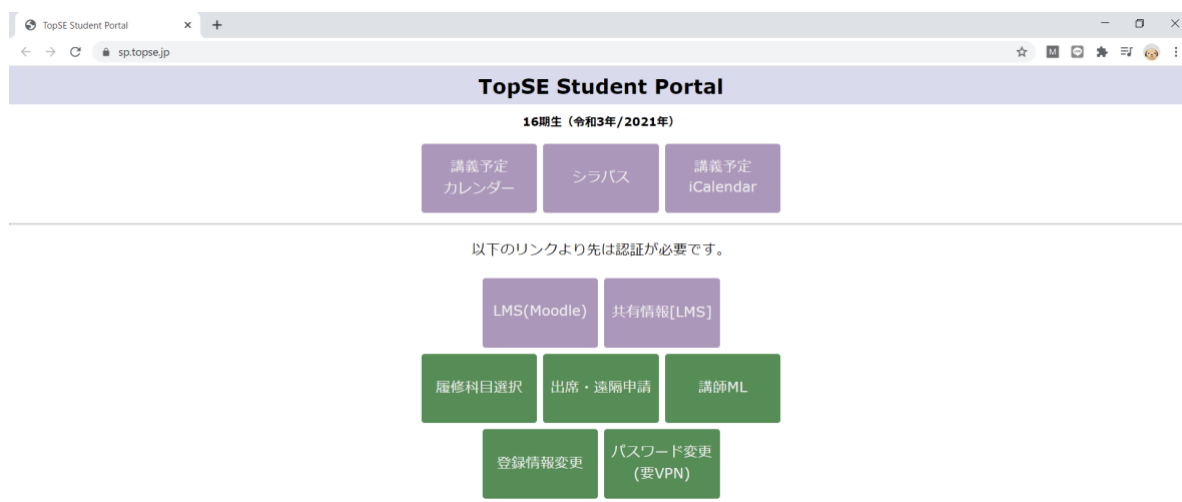
### 提出ステータス

提出回数	これは 1 回目の提出です。
提出ステータス	評価のため提出
評価ステータス	未評価
最終更新日時	2015年 01月 23日(Friday) 01:40
ファイル提出	📄 <a href="#">Report1_topse23022_NiiMasayuki.docx</a>
提出コメント	▶ コメント (0)

## 4. 受講生ポータル

受講生ポータル (<https://sp.topse.jp/>) では、講義受講に必要な情報の参照や、入力ができます。LMS と受講生ポータルに機能が別れていますが、講義の内容については LMS、講義の履修や出席、スケジュールなどは受講生ポータルを参照するようになっています。以下はトップページで、それぞれのボタンの機能を簡単にまとめておきます。どのページも、モバイルでも参照できるようになっていますが、デザイン上どうしても縦横のスクロールが必要なこともあり、完全には対応できていません。PC およびスマホのいずれかが操作しやすい方で利用してください。

本ガイドでは、履修科目選択と出席・遠隔申請、およびそれらのページから利用する議事録について、詳しく説明をします。



講義予定カレンダー	1年の講義予定カレンダー
シラバス	受講生用シラバス。メインサイトと同様な情報に加えて使用するソフトウェアの情報が追加されています。
講義予定 iCalendar	講義ごとに、講義予定を iCalendar 形式で提供。講義スケジュールの変更があれば、読み込み直してください。
LMS(Moodle)	<a href="https://lms.topse.jp/">https://lms.topse.jp/</a> へのリンク
共有情報[LMS]	LMSにある「共有情報」コースへのリンク
履修科目選択	科目ごとに「履修」「非履修」「聴講」を選択します。
出席・遠隔申請	出席の入力や、遠隔申請を行います。
講師 ML	講師に送信できるメールアドレス（講師全員がメンバーに入っているメーリングリスト）を表示します。
登録情報変更	勤務先の所属部署が変わったなど、出願時の情報が変更された場合、こちらで修正ができます。一部、修正するためには事務局に連絡が必要な項目もあります。
パスワード変更	ログインアカウントのパスワード変更を行う Web ページへのリンク。2章で説明した VPN 接続が必要です。

## 「履修科目選択」のページ

「履修科目選択」のページでは、原則として、履修できる科目の全てが一覧で見えているはずですが、もし、シラバスにあるにも関わらず、リストに存在しない項目があれば、事務局までお知らせ下さい。リストへの追加や削除は、受講生はできません。実際の科目リストは、自身でログインをして確認して下さい。

ポータルに戻る | [ログアウト](#)'. A message states: '受講生面談事前アンケートは回答済みです。回答日時: 03/07 23:47'. A link says '面談日時予約は、[ここをクリック](#)'. Below is a table of courses with columns for '履修ステータス', '遠隔', '講義科目名', 'アンケート', '成績', and '単位'." data-bbox="148 145 870 362"/>

履修ステータス	遠隔	講義科目名	アンケート	成績	単位
履修 <input type="button" value="取消に変更"/> <input type="button" value="聴講に変更"/>		テストイング(基礎) [2021/03/01開講]			1
<input type="button" value="非履修"/>		統計学と最適化 [2021/04/03開講] 履修締切まであと25日			1
<input type="button" value="非履修"/>		オブジェクト指向分析設計 [2021/04/05開講] 履修締切まであと27日			1
<input type="button" value="非履修"/>		プログラム検証の理論 [2021/04/06開講] 履修締切まであと28日			1
<input type="button" value="非履修"/>		要求工学基礎 [2021/04/07開講] 履修締切まであと29日			1
<input type="button" value="非履修"/>		ベイズ統計学 [2021/04/17開講] 履修締切まであと39日			1

通常の講義は、前の画面ショットの「統計学と最適化」以下の科目のように、「履修ステータス」がポップアップメニューになっています。既定の状態は「非履修」ですので、講義として取りたい場合には、「履修」「聴講」を選択して下さい。講義の締切日が表示されているので、遅れないように履修登録して下さい。

通常の講義で、履修締め切り後、開講日から2週間以内は、「テストイング(基礎)」のように、履修ステータスに、「取消に変更」「聴講に変更」などのボタンが表示されます。ステータスの変更をしたいなら、ボタンを押して下さい。そのまま履修するなど変更の必要がない場合にはボタンを押さないで下さい。

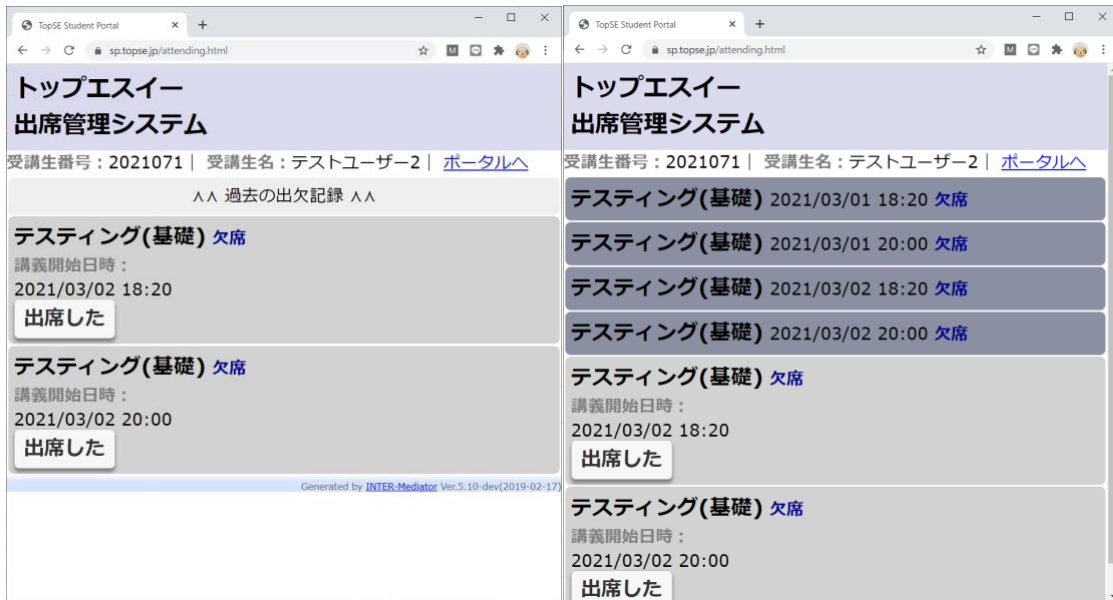
講義の最終日以降は、履修あるいは聴講の講義に限り、アンケートの「回答する」ボタンが表示されます。講義に対するアンケートにご協力ください。成績が講師より事務局に提出されれば、成績の欄に点数が見えるようになります。

演習科目（ソフトウェア開発実践演習、プロフェッショナルスタディ、先端ソフトウェア工学ゼミ）については、必須科目であり、原則として「履修」状態を変更できません。また、アンケートは受講生ポータルからは取りません。これらの科目については、このセクションの後の方で議事録など他のこととまとめて説明します。

## 「出席・遠隔申請」のページ

通常の講義については、受講生ポータルを利用して出席を取ります。ポータルのトップページから、「出席・遠隔申請」を選択すると、以下のようなページが表示します。

ページの冒頭には、その日の講義について、「出席した」ボタンがあり、そのボタンをクリックすると、出席したものとみなします。下の図では、講義名は「テストイング(基礎)」となっています。なお、ボタンを押したら出席となりますが、欠席に戻すことはできません。なお、このページには、履修あるいは聴講となっている講義のみが表示されます。



ページの冒頭にある「過去の出欠記録」をクリックすると、上の右の図のように、その日までの全出席記録が日付順に表示されます。通常の講義については、過去の出欠記録を修正することはできません。

## 自身に関する情報の変更

ポータルトップページから、「登録情報変更」を選択すると、以下のようなページが表示されます。勤務先の部署や、電話番号の変更、成績通知先の変更などがあつた時には、こちらのページで変更をしてください。それぞれのフィールドから別のフィールドに移動する時に、データベースに新しいデータが保存されるとともに、その変更結果をメールで送信します。また、「ポータルに戻る」をクリックしてもデータの更新が行われま

コース	トップエスィーコース	コース、氏名、受講生番号、遠隔については、変更の必要が生じた場合、事務局 (general@topse.jp) までご連絡ください。
氏名	テストユーザー2 (テストさん)	
受講生番号	2021071	
誕生日	<input type="text"/> 西暦で、年月日を、半角のスラッシュで区切って指定してください。例：1984/3/30	
連絡先【携帯TEL】	<input type="text"/> 通常、こちらの番号にご連絡をすることはありません。	
連絡先【Email】 (複数登録可)	<input type="text" value="msyk@me.com"/> 通常の連絡は、主として最初のメールアドレスに行います。いずれかのメールアドレス	

## 議事録の作成

演習科目は、原則として、各自が別々のことを行うので、毎回の作業内容記載した議事録を作成していただきます。議事録の作成方法は、日程が決まっているもの（ソフトウェア開発実践演習、先端ソフトウェア工学ゼミの個別ゼミ）と、日程が決まっていないもの（ソフトウェア開発実践演習で講師が了承した場合、プロフェッショナルスタディ）に分かれます。また、個人で議事録を作成する場合と、グループで作成する場合があります。それぞれ、議事録の作成方法を説明します。なお、グループでの取り組みの場合は、議事録は1グループごとに1つで構いません。各自が記述するものではありません。

### 決められた日程の場合

日程が決まっている演習科目では、グループで取り組むことが一般的ですが、ソフトウェア開発実践演習の独自個人演習は、1人で1つの議事録を作成することになります。

日程が決まっている場合には、その日に「出席・遠隔申請」を選択すると、講義の枠が見えますが、これらの演習科目では、以下の図の「ソフトウェア開発実践演習」のように、「議事録作成」ボタンが見えます。この「議事録作成」ボタンをクリックすると、以下の右の図のように欠席から出席に変わり、「議事録



編集」ボタンが見えるようになります。個人で取り組む場合には、「議事録編集」ボタンをクリックして、議事録を入力して下さい。



グループで取り組む場合は、メンバーの1人がまず、「議事録作成」ボタンをクリックします。そして、その後に表示される数字5桁以上のコードを他のメンバーに伝達します。他のメンバーも、受講生ポータルから「出席・遠隔申請」を選択すると、同じ科目の同じ日程の枠があるはずです。そして、「議事録作成」ボタンが見えていますが、2人目からは、コードの右のテキストフィールドに、1人目が取得したコードを入力して、「参加」ボタンをクリックします。すると、下の右の図のように、欠席から出席となり「議事録編集」ボタンに切り替わります。3人目以降も2人目と同様に操作して、コードの入力を済ませて下さい。



## コードの入力を間違えた場合

もし、間違えたコードを入力した場合、コードの数値をクリックして下さい。すると、以下の図のようなメッセージが表示されるので、OK ボタンをクリックすると、コードが消されて、最初の状態に戻ります。

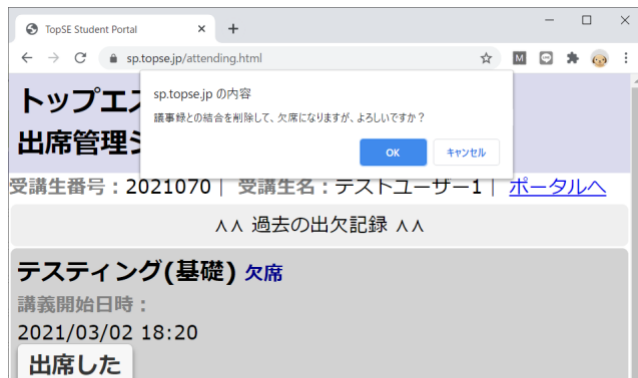
## 議事録の入力

「議事録編集」ボタンをクリックすると、議事録の入力ができます。科目、日付、出席者は自動的に設定された項目であり、入力は不要です。なお、出席者の中で、議事録を作成した人の左側のチェックをオンにしてください。

指導者については、「追加」ボタンをクリックしてポップアップメニューを追加し、講師名を選択してください。講師の人数分のポップアップメニューを作成して、氏名を設定してください。

時間と場所、そしてテキストエリアに議事録本体を入力して下さい。議事録本体に記載すべき内容はページの下部に説明があるので、そちらを参考にして下さい。

なお、このページは、閉じてしまうと入力内容が保存されない可能性があります。入力後、テキスト入力領域の外側をクリックするか、「出席確認へ」あるいは「ポータルへ」のリンクをクリックしてください。そのタイミングで保存されます。議事録はどのメンバーが入力しても構いませんが、文書の同時編集には対応していないため、同じ時点では、必ず誰か1人が入力するようにしてください。



トップエスイー 議事録	
出席確認へ   ポータルへ	
受講生番号: 2021070   受講生名: テストユーザー1	
科目名: ソフトウェア開発実践演習 / 日付: 2021/03/02(火)	
コード	1308563
出席者	<input type="checkbox"/> テストユーザー1, <input type="checkbox"/> テストユーザー2 議事録作成者にチェックを入れてください。
指導者	<b>追加</b> 「追加」ボタンをクリックすればポップアップが表示されます。そこで講師名を選択してください。指導者の人数分「追加」ボタンをクリックしてポップアップメニューを追加します。
実施時間	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> (24時間制)
実施場所	<input type="text"/>
<div style="border: 1px solid #ccc; height: 100px;"></div>	

## 個別の日程で行った場合

プロフェッショナルスタディやソフトウェア開発実践演習で、「出席・遠隔申請」を選択しても、今日の枠が表示されない場合があります(プロフェッショナルスタディではもともと表示されることはありません)。その場合、日程の入力から行う必要があります。

まず、受講生ポータルから「履修科目選択」を選択して、科目一覧を表示します。以下の図では上から2行目の「ソフトウェア開発実践演習」のように「議事録作成」ボタンが表示されています。議事録作成が必要な日に、この履修科目選択にある「議事録作成」ボタンをクリックしてください。



そして、受講生ポータルに戻り、「出席・遠隔申請」を選択すると、講義の枠が新たに見えるはずですが、日付と時刻は、前のボタンをクリックした日時になります。時刻はここでは無視して、日付のみが記録として採用されます。以後は、前に説明した通り、「議事録作成」ボタンをクリックし、さらに「議事録編集」ボタンをクリックして、議事録の作成を行ってください。



複数メンバーのチームの場合、2人目以降は、「履修科目選択」の「議事録作成」ボタンを押し、さらに「出席・遠隔申請」を選択したページで、1人目の人から聞いたコードを入力して1つの議事録に複数の受講生を対応付けます。その後に、議事録を作成してください。

## 過去の日付の議事録

「過去の出欠記録」をクリックした場合、議事録作成が必要な講義では、講義当日と原則変わらない状態になっています。後日、追加入力することもできます。



The screenshot shows a web browser window with the URL `sp.topse.jp/attending.html`. The page displays a list of lecture records for the date 2021/03/02. Each record includes the lecture title, time, and attendance status. Below each record, there are buttons for '議事録編集' (Edit Minutes) and '参加' (Participate). The '参加' button is only visible for the 'ソフトウェア開発実践演習' (Software Development Practical Exercise) lectures.

講義名	時間	出席状況	操作
テストイング(基礎)	2021/03/02 18:20	欠席	議事録編集 (コード: 1308563)
ソフトウェア開発実践演習	2021/03/02 18:20	出席	参加
テストイング(基礎)	2021/03/02 20:00	欠席	議事録編集 (コード: [空白])
ソフトウェア開発実践演習	2021/03/02 20:00	欠席	参加
ソフトウェア開発実践演習	出席		議事録編集 (コード: 1309558)
テストイング(基礎)	欠席		出席した



